



農業のプロ

手間やから

家族ぐるみでせんと

木村照正さん

玉ネギからネギへ

奥さんと一緒に元気に農業をしている木村照正さん（北黒田）を訪ねました。

「昔は60aの畑で、玉ネギやって、南京もしよったのに、年取ってか



らは玉ネギ、南京は重くて大変やしお金にならん。今はこのあたりの人はみんな、ネギなら生活になるかなってしよるだけやな」

そう話す木村さんも、60aの農地のうち、10〜15aでネギを栽培しています。畑を見せていただく、少しづつ成長が違うネギがきれいに畑に並んでいました。

「ネギは成長が早い。夏なんか特に早いけん、朝3時に起きて、夕方には出荷せな。間に合わんかったら捨てないかんなるけん、それも手間になるやろ。次がどんどん育ってくるんやから。やけんうちら夫婦2人するにはこんくらいでないとできん」

まわりを見渡すと、遊休農地がまばらに見えました。木村さんは自分の畑以外でも、雑草の生えて



いる遊休農地を気にし、「昔は農作物でいっぱいやったのにな」と少し寂しそうな表情でした。

1時間でもありがたい

「農業というのは手間やから、家族ぐるみでせんと。子どもが自分から『手伝おか』といってくるのはありがたい。たまらん重たいものなんか持つてくれたらそりや全然違う。夏休みや冬休みの1日でも、夕方1時間だけでも頼もしいわい」

木村さんの話から、あらためて農業の大変さが伝わってきました。

試練の先に

「駐車場なんかにしたほうが利口なかもしれん。農業も時代を知ってやらないかんね。知識とか情報も持たないかん。不安はいつも付きまとうけど、今までも農業で苦労もしてきたし、自分に対する試練や思てやらないかん。試練の先にこそ手に入れられるものもあるけん」

そう力強く語ってくれた木村さん。これからも変わらず農業を続けてほしいですね。

まさきの食材は、

みんなの宝物。

地元産を味わおう。

● 裸麦の出荷量 ●

1位	西条市	2,550 t
2位	東温市	822 t
3位	松前町	785 t

● レタスの出荷量 ●

1位	伊予市	1,340 t
2位	松前町	1,020 t
3位	西条市	242 t

● ねぎの出荷量 ●

1位	西条市	297 t
2位	松前町	264 t
3位	四国中央市	224 t

愛媛農林水産統計年報  
(平成18~19年) から

